

## 国際高速鉄道協会 (IHRA) 第 1 回全体会議の開催について

平成 26 年 4 月 10 日 (木)、ホテルオークラ東京にて、国際高速鉄道協会 (IHRA) の第 1 回全体会議を開催しました。

### ○ 出席者

#### (IHRA 役員)

宿利理事長、パターソン理事長代理、石司理事兼技術検討委員、  
小菅理事、吉江理事兼技術検討委員、青柳理事兼技術検討委員、劉理事、  
日笠監事、辻本監事

#### (上席顧問委員会、以下 SAB: Senior Advisory Board)

葛西委員長、石原委員、ナイ委員、佐々木委員、シン委員、冨田委員

#### (技術検討委員会、以下 TAB: Technical Advisory Board)

森村委員長、アジズ委員 (オブザーバー)、チュア委員 (オブザーバー)、  
ジャック委員、ジェン委員、ケルターボーン委員、テイラー委員

### ○ 内容

全体会議では、IHRA の目的や役員、組織、SAB 委員及び活動方針、TAB 委員及び活動方針の紹介があり、その後、IHRA の活動において重要となる「Crash Avoidance (衝突回避)」の原則について、森村 TAB 委員長が発表を行いました (資料)。

発表を受け、出席者からは Crash Avoidance に基づく高速鉄道のメンテナンス方法や、安全のアプローチについての意見、また、これから高速鉄道を建設する場合は、高速旅客鉄道専用線の概念が有力であることを伝えていくべきとの意見が出ました。

さらに、Crash Avoidance の原則に基づく高速鉄道の事業者 (JR 東海、JR 西日本、JR 東日本、JR 九州、台湾高速鉄道) から、事業内容の紹介があり、会議の最後には、「IHRA は、Crash Avoidance の原則に基づく高速鉄道事業者 5 社が持つ知見・経験を、高速鉄道建設計画を持つ国と共有することで、安全な高速鉄道を世界に広めていくという目的を達成できるよう、今後の活動を進めていく」ことを確認しました。

IHRA 全体会議 (H26.4.10)

○ 全体会議の様子 (写真)

